

■製品の特徴

一般のクォーツ式腕時計はボタン電池で動きますが、セイコー-KINETICは“時計を振る”ことにより内蔵された発電機が回され、発電した電気をキネティックE.S.U.に蓄えて時計を動かすというSEIKO独自の機構を持ったクォーツ時計です。従って、電池交換の必要はありません。あと何日動かすかを針の動きでお知らせするインジケータ付きです。フル充電で7日間以上動き続けます。

△注意

- あなたの腕の動きを電気に変換して蓄える方式です。静止したままでは充電されません。
- 目安として一日10時間以上の携帯をおすすめします。
- 充電量が残り少なくなりますと、秒針が一度に2目盛ずつ運針(以下〈2秒運針〉と略します)してお知らせします。「●充電のしかた」をよくお読みになって充電してください。

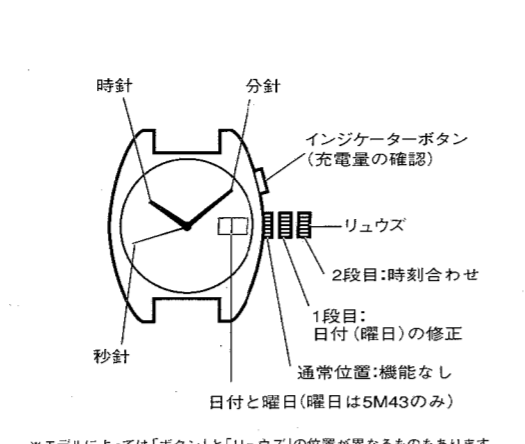
(例) インジケータの表示が「20秒」を示した場合、約4日間～約7日間の持続時間があるという意味になります。約4日間以上の持続時間があることになりすが、約4日～7日の幅をもった表示になりますので、4日ちょうどなのか5、6、7日のどの程度かはわかりません。

インジケータの表示

秒針の早送り量	5秒	10秒	20秒	30秒
充電持続時間	約6時間～約2日	約2日～約4日	約4日～約7日	約7日以上

インジケータの表示が「20秒」を示した場合、約4日間～約7日間の持続時間があることになりすが、約4日～7日の幅をもった表示になりますので、4日ちょうどなのか5、6、7日のどの程度かはわかりません。
 インジケータで示す持続時間は目安としてお使いください。インジケータの表示が実際の持続時間と異なる場合があります。
 ※早送り後、秒針はその位置にとどまり、その後は正確な時刻を示します。
 ※インジケータにもう一度ボタンを押すと、再び秒針が早送ります。よって「10秒」の表示をした場合は、1回目と2回目で20秒早送りすることになります。充電量はあくまでも「10秒表示」分の意味です。もう一度確認する場合は、秒針が通常運針になってからボタンを押してください。
 ※2秒運針時は、インジケータ機能はありません。

■各部の名称とはたらき

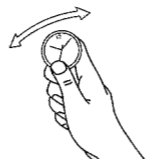


※モデルによっては「ボタン」と「リュウズ」の位置が異なるものもあります。

■ご使用にあたって ●充電のしかた

・止まっている時計を動かす場合や、充電量が少なくなった場合に行ってください。

① 時計を下の方のように矢印の方向に振ってください。1秒間に2往復のリズムで、約100回(往復)振ってください。約6時間分の蓄えができたことになります。この時、秒針の動きは2秒運針から通常の1秒運針になります。



※ 1秒間に2往復程度の早さで、約20cm位の距離を往復させる様に振っていただくことが最も効果的です。
 ※ 極端に早く激しく振っても効率の良い充電はできません。
 ※ 発電機を回す回転音の音が聞こえますが異常ではありません。

●充電量を調べるには? (インジケータ)の使いかた

② さらに振り続けて2日分程度の充電をしてから携帯することをおすすめします。この時計はフル充電で「7日」以上の充電量を得られますが、初めにフル充電にしておく必要があるかもしれません。1日の充電量を確保するためには約200～250回(往復)が必要です。

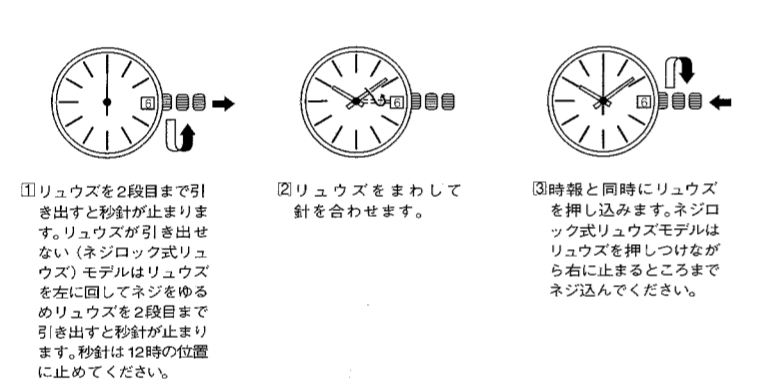
- ・発電し蓄えられた充電量を調べることができます。
- ・今からどのくらい動き続けるか(持続時間)が分かります。
- ・ボタンを押すと運針の秒針が早送りし、その早送りする秒数で持続時間を示します。
- ・携帯中に充電状態を確認する時や腕から外しておく時など、あとどのくらい動き続けるかを確認できます。

〈インジケータが表示する意味〉

インジケータはキネティックE.S.U.に蓄えられた充電量を調べ、4段階の表示で示します。但し、段階的に幅を持った表示のため時計が動きつづける時間を細かくは表示できません。

- ※ 蓄えられた充電量はインジケータで調べることができます。(→この右「インジケータの使いかた」を参照)
- ※ 手振りによる充電直後はインジケータの示す充電量が若干多めに出来る可能性がありますので、10～15分後に再度ご確認ください。
- ※ フル充電状態からさらに充電しても過充電防止回路が働きまですので、安心してお使いいただけます。

●時刻の合わせかた



※午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は24時間に1度変わるように設定されています)
 ※クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから、逆にもとめて合わせてください。
 ※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL117が便利です。

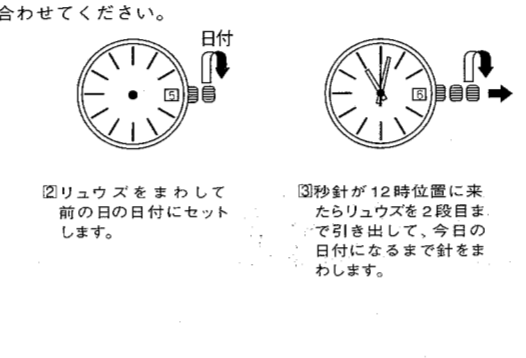
■ご使用方法 ●日付の合わせかた(5M42の場合)

(インジケータ30秒表示について)
 ・充電量を確認した際に、30秒の早送りをした場合、約7日以上の持続時間があることを示します。
 ・充電量としては、約7日以上で最大約14日の幅がありますが、その中のどのくらいかはわかりません。
 ・最大に充電できた場合は、約14日間(2週間)動き続けます。

●2秒運針になったら

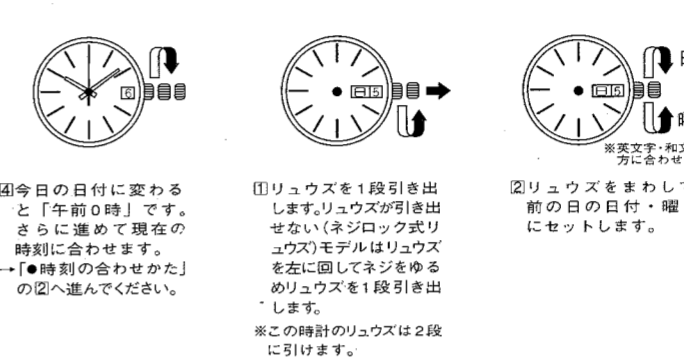
- ・携帯中もしくは、外に置いてある時計が、2秒運針を始めると、6時間以内に止まる可能性がありますが、その中で充電をしてください。(→「●充電のしかた」を参照)
- ※ 2秒運針中でも時刻表示は正常です。

●ご使用方法 ●日付の合わせかた(5M43の場合)



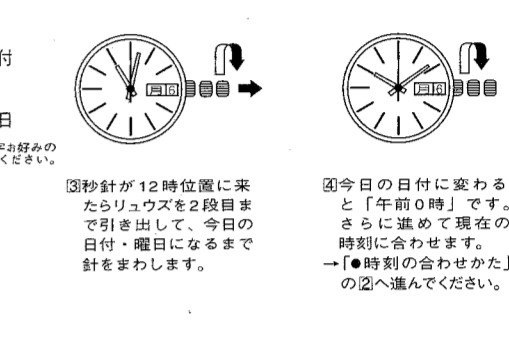
※月末の日付修正について
 2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では、月末または翌月の1日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。
 ※午後9時～午前1時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。

●ご使用方法 ●日付・曜日の合わせかた(5M43の場合)



※午後9時～午前1時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。

●ご使用方法 ●日付・曜日の合わせかた(5M43の場合)



※月末の日付修正について
 2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では、月末または翌月の1日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

保管について

- ・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では機能が低下したり停止する場合があります。
- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。(薬品の例: ペンジン、シンナー、などの有機溶剤およびそれらを含有するもの、ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など水銀、ヨウ素系消毒液など)
- ・温泉や防虫剤の入ったびきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

△注意

防水性能

・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
 ・水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示	使用例	非防水	両方液体など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水に関係の深い仕事(農水産、園芸、釣、アウトドア(水泳やヨット)で使用する程度)	空気ボンベを使用しない潜水(スキューバダイビング)や入浴に使用できる。	空気ボンベを使用する潜水(スキューバ潜水)に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式(飽和潜水)に使用できる
表示なし	非防水	×	×	×	×	×	×
表示なし	日常生活防水(3気圧防水)	○	×	×	×	×	×
表示なし	日常生活強化防水(5気圧防水)	○	○	×	×	×	×
表示なし	日常生活強化防水(10気圧防水)	○	○	○	×	×	×
表示なし	日常生活強化防水(20気圧防水)	○	○	○	○	×	×

入浴について

10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことにご注意下さい。
 ・時計に、石けんやシャンプーンがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。(防水機能が維持できなくなる場合があります)
 ・温湯で時計が温まると、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にでもどれほど精度はもとにもどります。

△警告

- ・日常生活防水(3気圧)の時計は、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活強化防水(5気圧)の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活強化防水(10・20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

その他、携帯上ご注意くださいこと
 ・バンド着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
 ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
 ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますのでご注意ください。

△注意

・提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

定期点検について

- ・ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分の原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店にご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
- ・部品交換の時は、「セイコー純正部品」とご指定ください。
- ・定期点検の際にはバックンやバナネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった	充電した電気エネルギーがなくなった	「●充電のしかた」を参照し充電してください。
時計が遅れる	寒いところ、または、暑いところへ放置した	常温に戻れば正常な状態に戻ります。時計を合わせ直してください。(「●時刻の合わせかた」参照)
ガラスのくもりが消えない	バックンの劣化などにより時計内部に水分が入った	お買い上げ店にご相談ください。
秒針が2秒運針をしている	充電した電気エネルギーが残り少なくなった	6時間以内に止まる可能性がありますので「●充電のしかた」を参照し充電してください。
毎日携帯しているのに、インジケータの表示が10秒以上にならない	1日の携帯時間がやや短いか腕をほとんど動かさない行動である	なるべく長く携帯してください。1日10時間を目安に約3日以上のご携帯をお願いします。インジケータ表示で20～30秒分の充電量が確保できると考えられます。
日付(曜日)が日中に変化する	時刻合わせが12時間ずれている	12時間針を進めて時刻を合わせてください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■製品仕様

- 水晶振動数 : 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
- 携帯精度 : 平均月差±15秒 ※5℃～35℃において腕につけた場合
- 作動温度範囲 : -10℃～+60℃
- 駆動方式 : ステップモーター式
- 使用電源 : キネティックE.S.U.(※1参照) 1個
- 駆動持続時間 : フル充電(インジケータ30秒表示)から止まりまで →約7日以上 2秒運針になってから止まりまで →約6時間
- 充電量表示機能つき (インジケータ)
- 電子回路 : 共振・分周・駆動・充電制御回路 (C-MOS-IC) 1個
- 発電システム 小型交流発電機

※1.キネティックE.S.U.とは KINETIC ELECTRICITY STORAGE UNIT (キネティックエレクトリシティストレージユニット) の略。電池交換不要のキネティックムーブメントに使用されている電源の名称です。
 ※2上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・保証期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店うけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコー株式会社お客様相談室」「セイコーサービスセンターお客様相談係」にお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

■補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- ・修理可能な期間をご使用条件によりいじめるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理のご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただく場合がありますのでご了承ください。